

越谷市福祉憲章

わたしたち越谷市民は、生涯にわたって、すこやかに、いきいきと、人間らしく、川の流れるこの豊かなまちに、安心して暮らせることを願っています。

そのためには、個人、家庭、地域、企業、行政などが、しっかりと手をたずさえ、知恵をだしあい、それぞれの役割を自覚し、責任を果たしていかなければなりません。

すべての市民が、ふるさとと実感でき、愛着もてる福祉のまちをめざして、この憲章を定めます。

ともに生きよう かけがえない あなたのいのち 明日に向けて みんなでつくろう やさしいまちを
ともにつなげよう あなたのちから わたしの経験 知恵をだしあい みんなで築こう 住みよいまちを
ともにかけあおう ほほえみと 思いやり 手をとりあって みんなで育てよう ふれあいのまちを
ともに高めよう すこやかな こころと体 明るい家庭 みんなで愛そう ふるさとのまちを

平成11年9月15日制定

安全都市宣言

最近における産業、経済、文化の発展と交通量は極度に増加し、交通事故が頻発して大きな社会問題となっている。また火災の発生も文化生活の向上、暖房用火器具類の発達普及に伴って増加の傾向にある。よって全市民とともに安全都市造成の理想を達成するため「安全都市」とすることを宣言する。(抜粋)

昭和37年3月制定

スポーツ・レクリエーション都市宣言

水と緑と太陽に恵まれた私たちのまち、越谷市も急激な開発と人口増加により、美しい自然と生活洋式様式に大きな変化がもたらされました。

私たちは、いつも美しい自然にあふれ、健康で明るく人間性豊かなまち越谷市でありたいと思います。

私たちは、ひとりひとりが生活をとおしてスポーツ・レクリエーションを親しみ、健康でたくましい心とからだをつくるとともに、さらに市民の交流を深め、連帯感に支えられた明るく豊かな住みよいまちを築くことを誓い、次の目標をかかげて越谷市を「スポーツ・レクリエーション都市」とすることをここに宣言します。

- すべての市民がスポーツ・レクリエーションを楽しみましょう。
- すべての市民が力を合わせてスポーツ・レクリエーションのできる場をつくりましょう。
- すべての市民がスポーツ・レクリエーションに進んで参加しましょう。
- すべての市民が身近かにスポーツ・レクリエーションのできる仲間をつくりましょう。

昭和49年9月26日制定

文化都市宣言

清らかな川の流れると豊かな緑、青い空。

昔から水郷こしがやとして親しまれてきた

わたしたちの郷土は、先人達が遺(のこ)してくれた

かけがえないふるさとである。

わたしたちは、

先人から受け継いだ恵みを守り、はぐくみ、

さらに、人間愛に満ちた

ゆとりと潤いと安らぎのある文化のまちを創(つく)って

次の世代に引き継いでいこう。

みんなで心と力をあわせて、

わがまち越谷 と だれもが誇れるまちづくりをすすめ、

生涯を心豊かに過ごせるような市民生活を築いていこう。

市制25周年にあたり、

越谷市を「文化都市」とすることを宣言する。

昭和58年11月3日制定

平和都市宣言

わがまちは、古くから「水郷こしがや」として親しまれてきた水と緑と太陽に恵まれた美しいまちであります。

そして、このかけがえない自然と明るく平和な暮らしは、越谷市民すべての願いであります。

わが国は、先の大戦による戦禍にみまわれ、世界で唯一の被爆国として、尊い命や貴重な財産を失ってきました。この戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを後世に伝えていかなければなりません。

わたしたちは、未来に向けて平和で豊かな社会を築き、美しい自然環境を新しい世代に引き継ぐため、人類共通の願いである世界の恒久平和実現を希求し、市制施行50周年を期して、ここに平和都市宣言をいたします。

平成20年11月3日制定

越谷市民憲章

わたくしたちは、越谷市民であることに誇りと責任を持ち、水と緑と太陽に恵まれた豊かなまちを築くため、限らない願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

1. 教養を豊かにし、人間性あふれる文化のまちをつくります。
1. きまりを守り、信じあい心豊かな明るいまちをつくります。
1. 自然を愛し、お互いに助けあい、きれいなまちをつくります。
1. 健康で楽しく働き、明るいスポーツのまちをつくります

昭和53年11月3日制定

第7章

越谷 もの知りページ



市役所の位置

所在地●埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
経緯度●東経139度47分 北緯35度53分

位置・地勢

越谷市は埼玉県の南東部に位置し、面積は60.31km²(東西8.6km、南北11.5km)。大宮台地と下総台地にはさまれた中川流域の沖積平野にあり、丘陵のない平坦な土地です。

人口・世帯

総人口●322,195人(男●161,508人 女●160,687人)
世帯数●131,723世帯(平成20年10月1日現在)

越谷市子ども憲章

水と緑と太陽に恵まれた越谷市の未来を担うわたしたちは、夢と誇りを持ちみんな仲良く助け合って生きていくことを誓い、ここに「越谷市子ども憲章」を定めます。

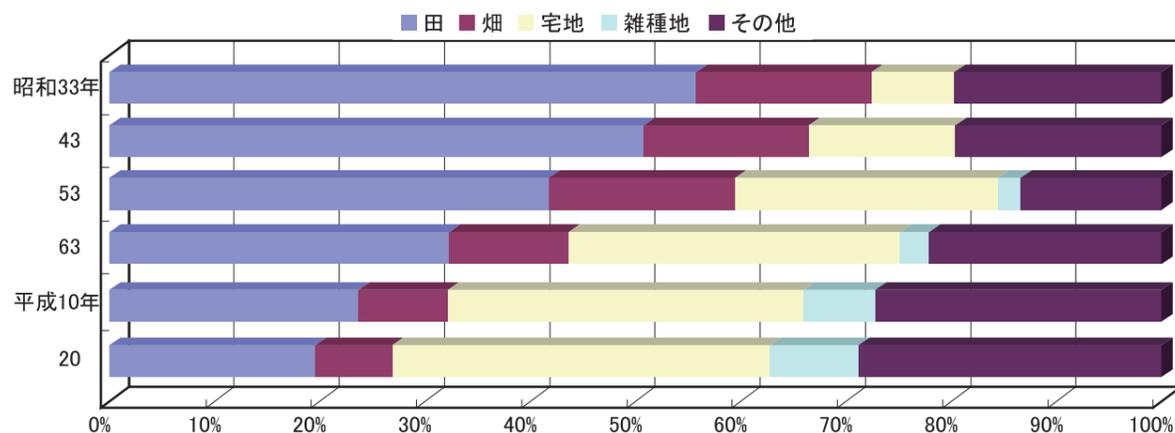
自立 わたしたちは、互いに認め励まし合い、自分の道を歩んでいきます。
責任 わたしたちは、礼儀正しく、きまりを守り、責任を持って行動します。
健康 わたしたちは、生命を大切に、明るく、たくましく生きていきます。
感謝 わたしたちは、思いやりの心と、「ありがとう」の気持ちを持ち続けます。
環境 わたしたちは、自然や文化を大切にし、環境にやさしくします。

平成10年11月3日制定

土地

人口の増加とともに農地割合が低下し、宅地割合が上昇しています。この50年間で農地割合が72%から27%になり、一方、宅地割合が4.6倍と高くなり、平成20年4月現在で約36%を占めています。

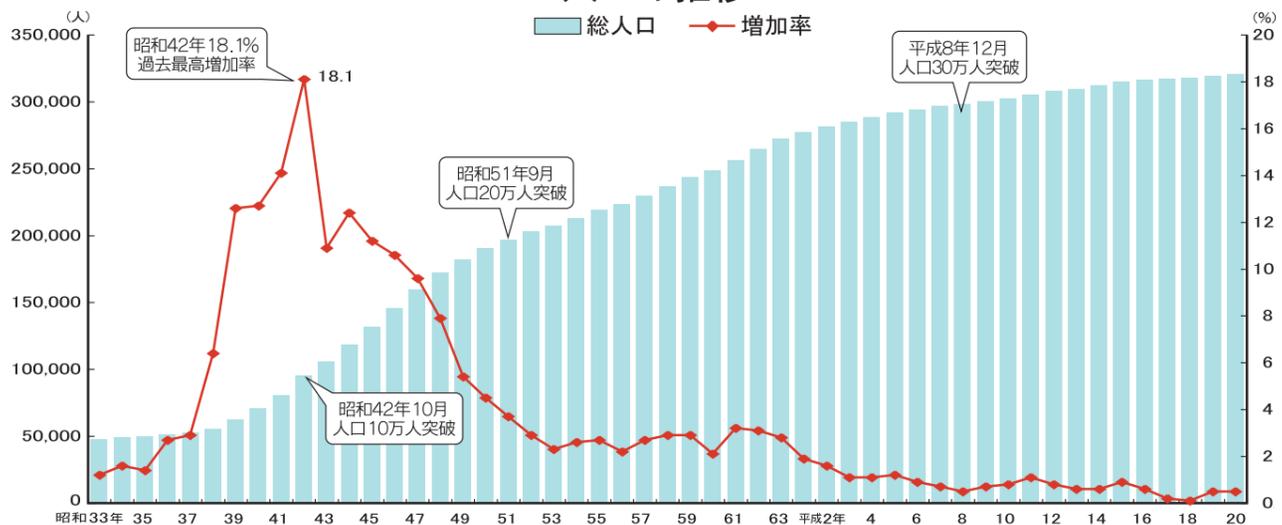
地目別土地面積割合



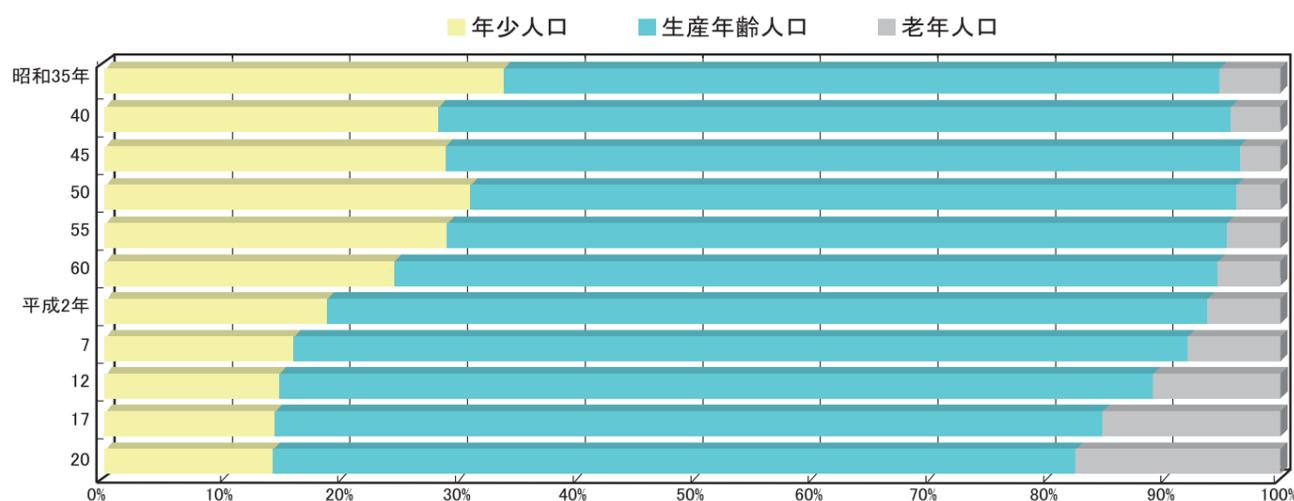
人口

越谷市は、平成8年12月に全国で66番目、県内6番目の30万都市の仲間入りをしました。昭和37年に地下鉄日比谷線が北越谷駅まで相互乗り入れを開始後、人口が急激に上昇し、昭和42年には人口増加率のピークを迎えました。その後、昭和48年まで年間1万人の増加が続き、徐々に緩やかな増加傾向となっています。人口を年齢3区分別にみると昭和55年以降、年少人口（15歳未満）の割合が減少するとともに、老年人口（65歳以上）の割合が上昇しており高齢化が進んでいます。

人口の推移



年齢3区分別人口割合



データからみた越谷市の推移

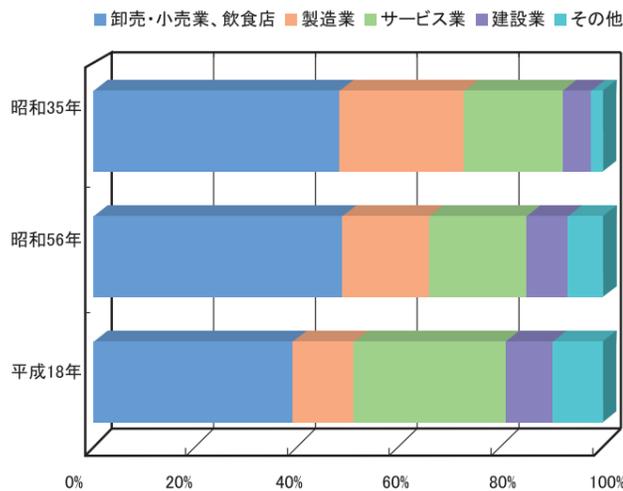
項目	年代	昭和33年	昭和43年	昭和53年	昭和63年	平成10年	平成20年
人口 (4月1日現在)		48,048人	105,492人	207,575人	271,964人	302,368人	320,802人
世帯 (4月1日現在)		8,342世帯	26,803世帯	59,486世帯	85,258世帯	108,239世帯	130,392世帯
人口密度 (4月1日現在)		796人/Km ²	1,766人/Km ²	3,475人/Km ²	4,553人/Km ²	5,014人/Km ²	5,319人/Km ²
1世帯当り人員 (4月1日現在)		5.8人	3.9人	3.5人	3.2人	2.8人	2.5人
1日当り出生数		2.77人	8.85人	9.90人	7.85人	8.70人	7.98人 (19年中)
1日当り死亡数		1.18人	1.34人	2.13人	2.98人	3.99人	5.72人 (19年中)
1日当り婚姻数		0.98件	4.19件	3.72件	4.43件	5.29件	5.14件 (19年中)
1日当り離婚数		0.06件	0.21件	0.68件	0.91件	1.64件	1.98件 (19年中)
1日当り転入者数		4.90人	47.24人	46.43人	49.51人	46.16人	39.57人 (19年中)
1日当り転出者数		4.58人	18.37人	40.19人	38.59人	42.71人	37.99人 (19年中)
1日当り交通事故		0.44件	3.65件	5.23件	13.21件	21.42件	19.4件 (19年中)
1日当り救急出動		—	9件	10件	16件	22件	33件 (19年中)
1日当り犯罪件数		1.9件	4.5件	5.3件	9.7件	17.5件	19.7件 (19年中)
1日当りごみ排出量 (家庭系)		—	18.8t	100.0t	188.2t	233.8t	218t (19年中)
市内駅1日当り乗車人員		9,126人	49,391人	112,094人	182,603人	216,506人	225,290人 (19年度)
病院診療所		18力所	42力所	81力所	119力所	149力所	167力所 (19年度)
児童数生徒数		10,023人	13,421人	37,410人	39,405人	27,428人	27,868人

産業

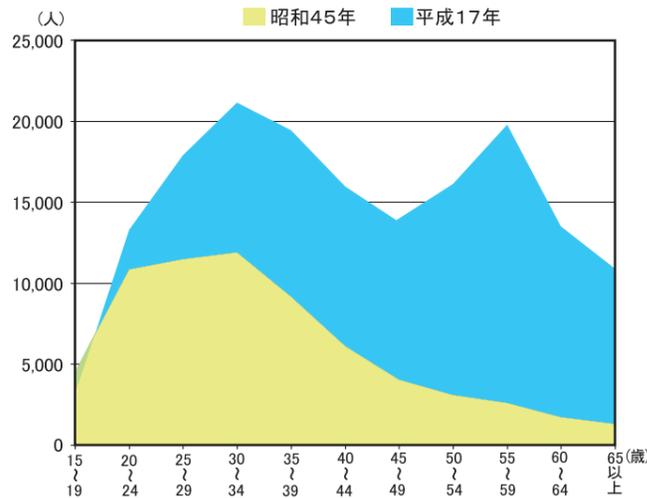
産業別に事業所割合をみると、卸売・小売業、飲食店及び製造業が低下したのに対し、サービス業が伸びています。労働力人口の年齢別構成をみると、40歳以上の中高年齢の労働力層が拡大しています。また、農家数は昭和35年から3分の1に減

少し、特に専業農家は著しい減少となっています。工場数は昭和40年から50年にかけて大幅に増えています。商店数、年間商品販売額は、平成3年をピークに減少しています。

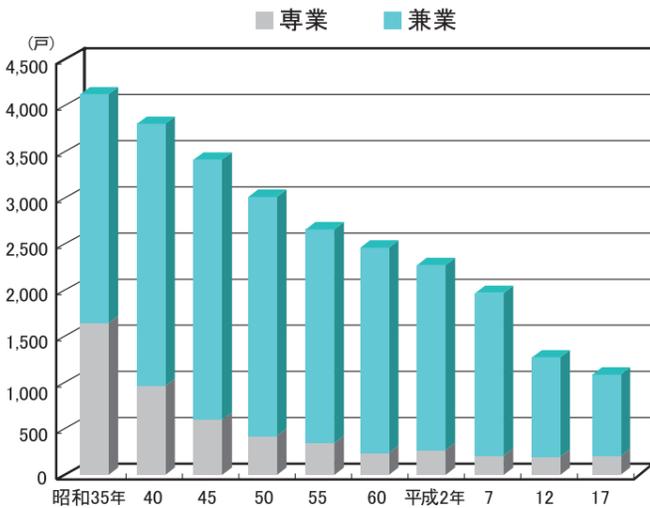
産業別事業所割合



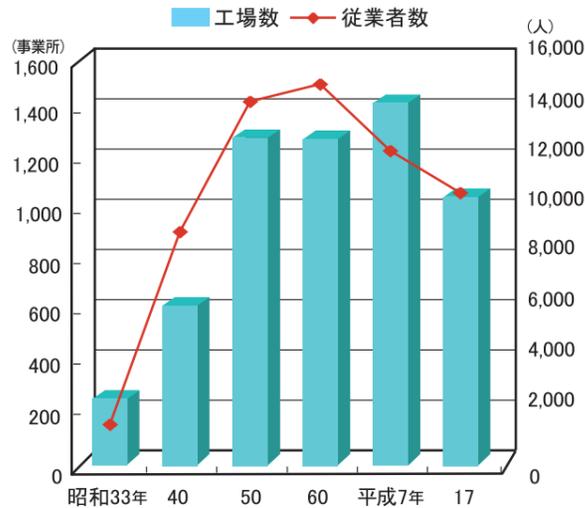
労働力人口年齢別構成



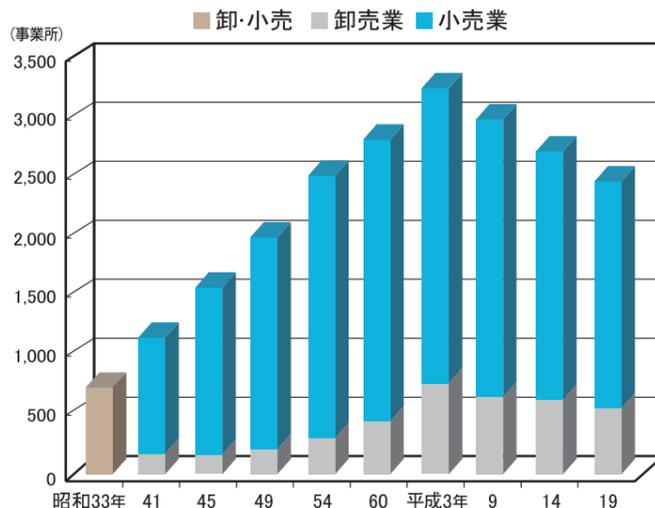
農家数



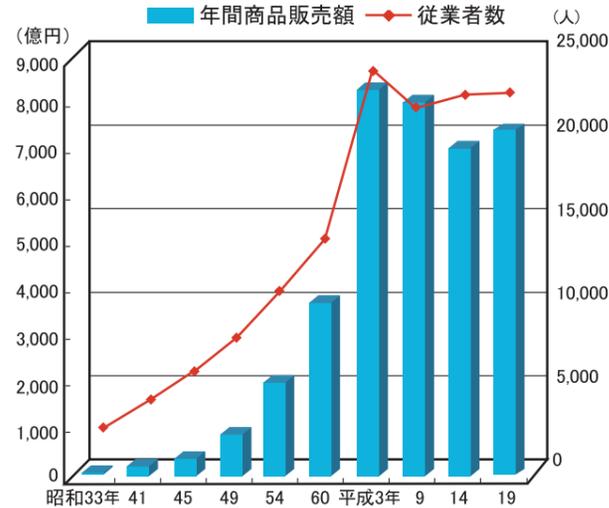
工場数



商店数



年間商品販売額と従業者数

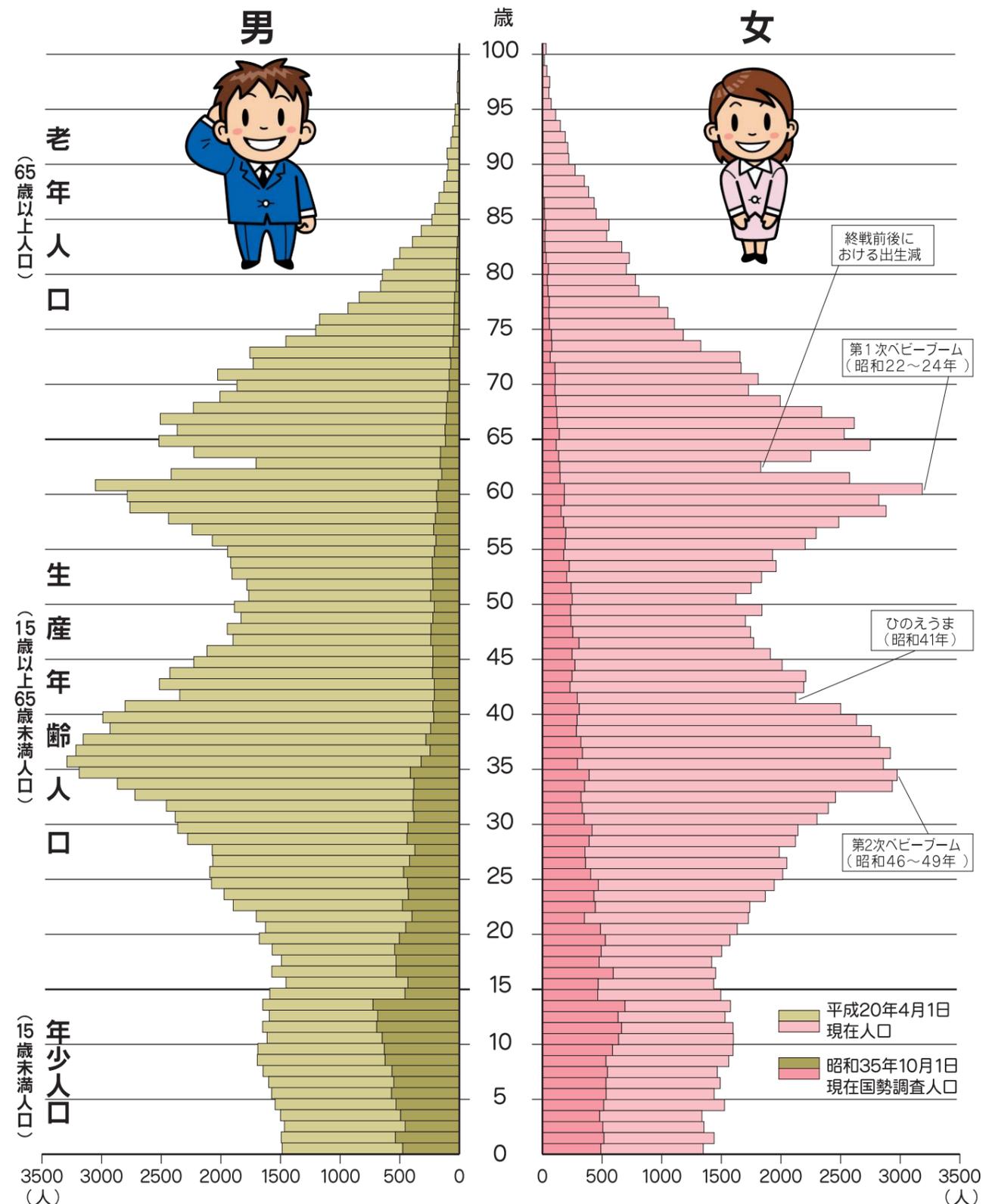


人口ピラミッド

昭和35年と平成20年の年齢別人口を重ねてみると、人口の著しい増加と年齢構成の変化の様子がわかります。昭和35年には13歳を人口のピークとした人口構成になっていましたが、平成20年では

35歳前後と60歳前後をピークとした「ひょうたん型」になっており、終戦前後及びひのえうま年における出生の減少や第1次・第2次ベビーブームの状況がわかります。

平成20年4月1日現在人口と昭和35年10月1日現在国勢調査人口

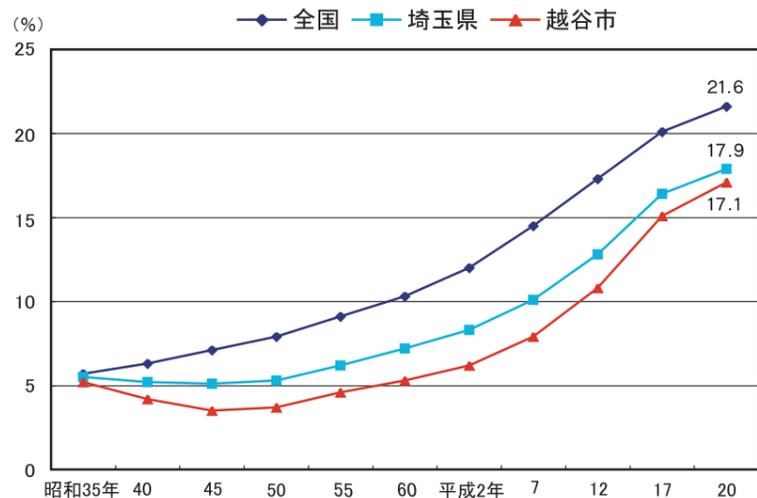


保健・福祉

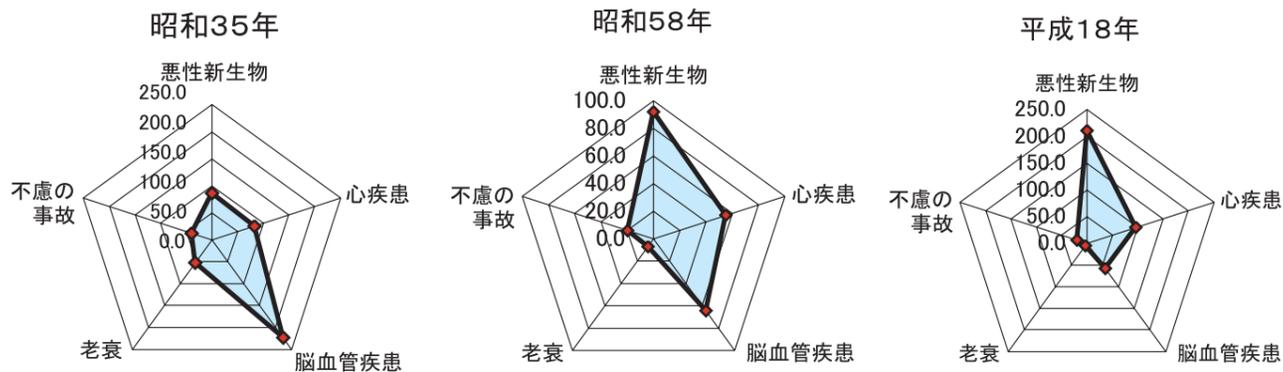
平成20年1月現在、65歳以上の人口割合が17.1%となっており、昭和35年の5.2%と比較して3倍以上も上昇し、急速に高齢化が進んでいます。また、人口10万人対死亡率をみると、昭和35年においては脳血管疾患が最も高い数値であったが、

徐々に低下し、平成18年では悪性新生物が210.3と最も高い値となっています。小学校6年生の身長・体重の平均を昭和33年当時と平成19年を比較すると、男女とも身長で約10cm、体重で約8kg増え、体位の変化がみられます。

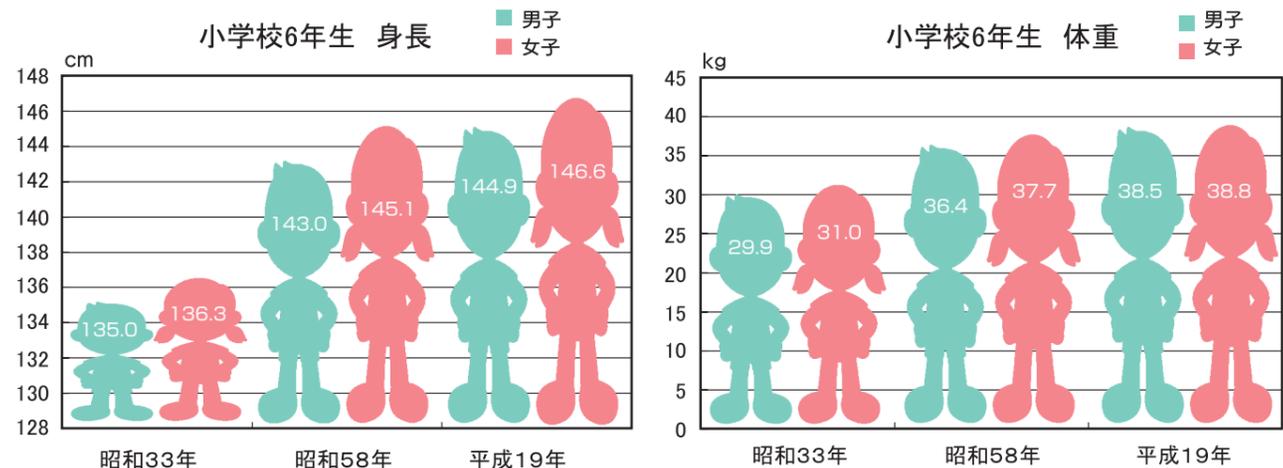
全人口に占める65歳以上人口の割合



主な死因別人口10万対死亡率



児童の平均身長・体重

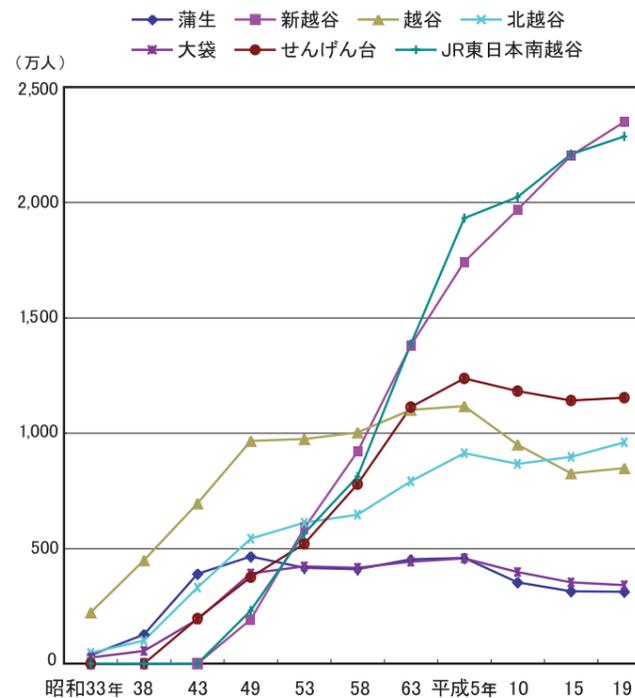


市民生活

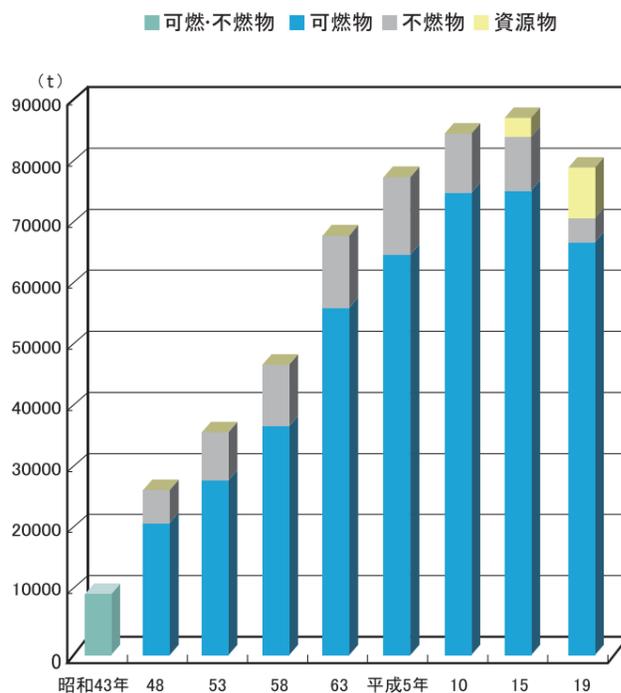
昭和37年の地下鉄日比谷線と東武伊勢崎線の相互乗り入れ以降、乗車人員が急増し、平成5年度を境に鈍化傾向となっています。ごみの収集量は、平成15年まで増加していましたが、それ以降は

徐々に減少しています。都市公園の供用面積は昭和56年度から約2倍に増えています。公共下水道の普及率は平成19年度において81.4%となっています。

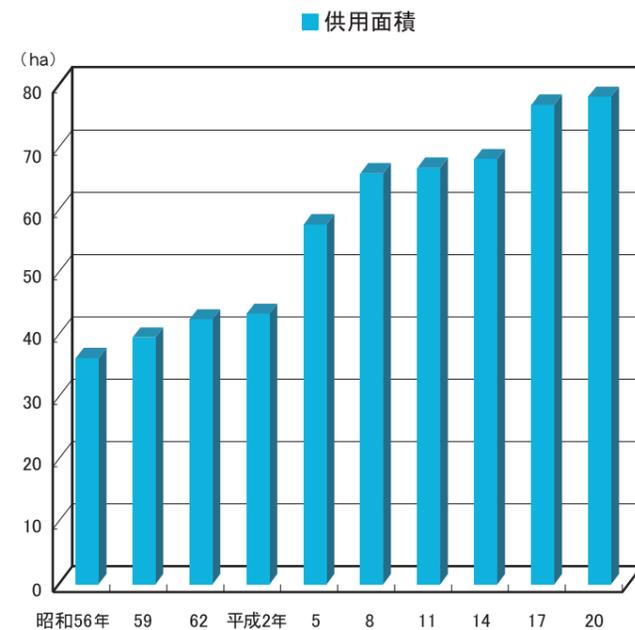
各駅別乗車人員



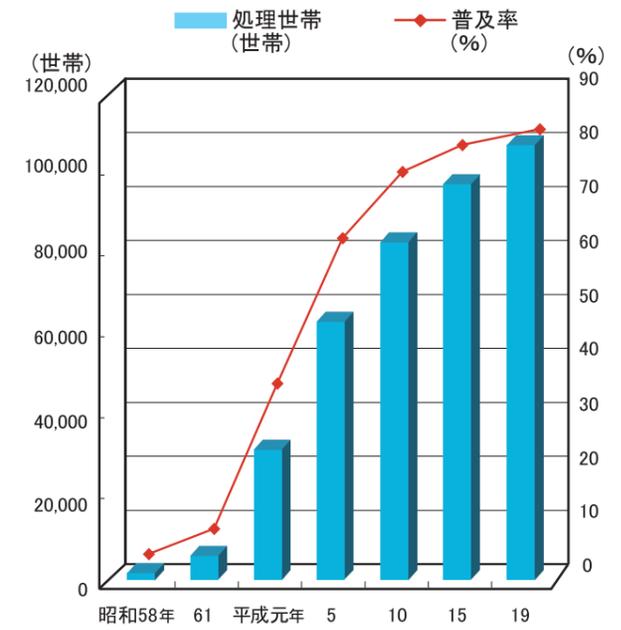
ごみ収集量(家庭系)



都市公園



公共下水道



地目別土地面積割合

(単位：%)

年次	田	畑	宅地	雑種地	その他
昭和33年	55.8	16.7	7.8	...	19.7
43	50.8	15.7	13.9	...	19.6
53	41.8	17.7	24.9	2.2	13.4
63	32.3	11.4	31.5	2.7	22.1
平成10年	23.7	8.5	33.8	6.8	27.2
20	19.6	7.3	35.9	8.4	28.8

資料：昭和33年は「埼玉県統計年報」
昭和43年以降は資産税課

人口

各年4月1日(単位：人、%)

年次	人口	増加率	年次	人口	増加率	年次	人口	増加率
昭和33年	48,048	1.2	昭和50年	190,079	4.5	平成4年	288,101	1.1
34	48,800	1.6	51	197,087	3.7	5	291,519	1.2
35	49,460	1.4	52	202,857	2.9	6	294,257	0.9
36	50,793	2.7	53	207,575	2.3	7	296,426	0.7
37	52,285	2.9	54	212,977	2.6	8	297,822	0.5
38	55,648	6.4	55	218,817	2.7	9	299,870	0.7
39	62,637	12.6	56	223,687	2.2	10	302,368	0.8
40	70,600	12.7	57	229,656	2.7	11	305,566	1.1
41	80,540	14.1	58	236,406	2.9	12	308,047	0.8
42	95,113	18.1	59	243,328	2.9	13	309,743	0.6
43	105,492	10.9	60	248,435	2.1	14	311,737	0.6
44	118,570	12.4	61	256,486	3.2	15	314,667	0.9
45	131,887	11.2	62	264,487	3.1	16	316,466	0.6
46	145,878	10.6	63	271,964	2.8	17	317,033	0.2
47	159,931	9.6	平成元年	277,144	1.9	18	317,483	0.1
48	172,555	7.9	2	281,623	1.6	19	319,164	0.5
49	181,822	5.4	3	284,836	1.1	20	320,802	0.5

(注) 昭和60年までは住民基本台帳人口であり、昭和61年からは総数(住民基本台帳人口+外国人登録数)である。

年齢3区分人口

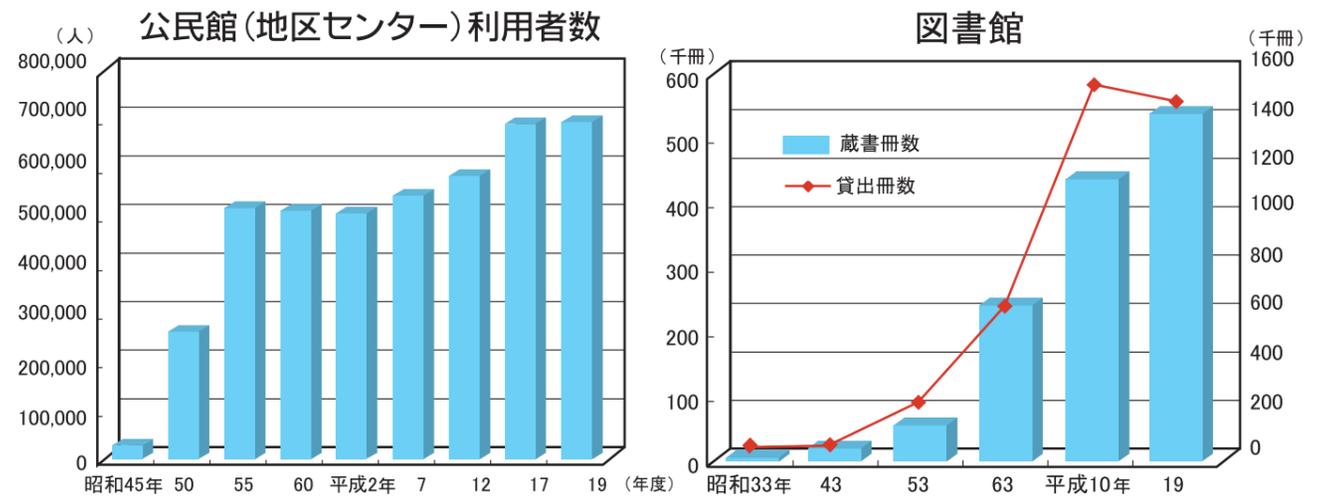
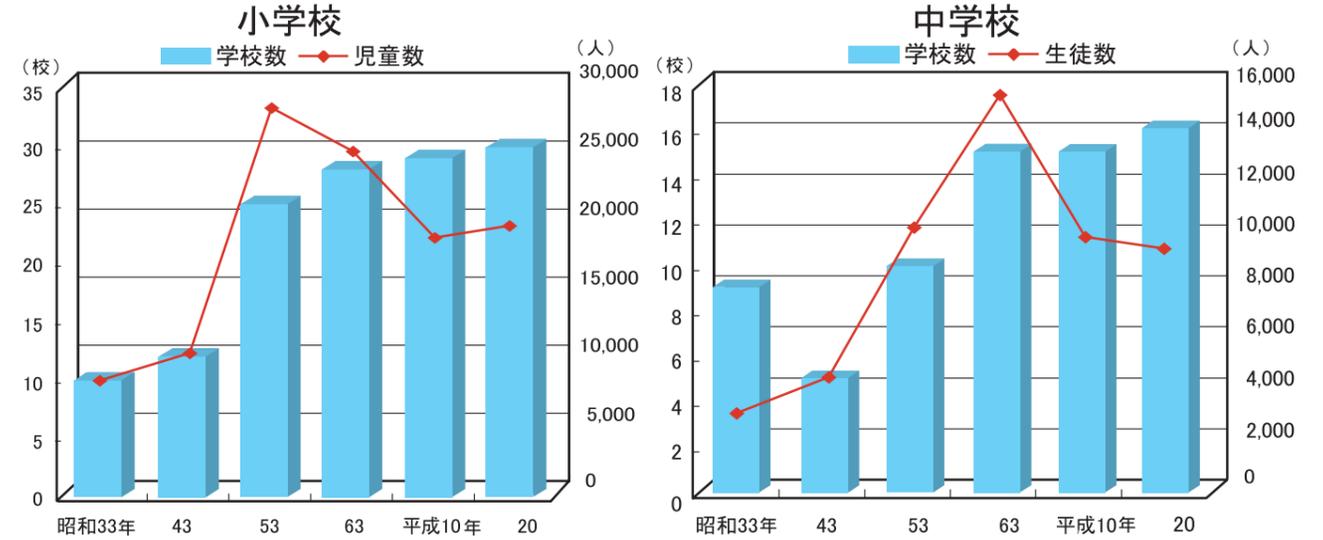
(単位：人、%)

年次	総数	15歳未満		15~64歳		65歳以上	
		実数	割合	実数	割合	実数	割合
昭和35年	49,585	16,817	33.9	30,201	60.9	2,567	5.2
40	76,571	21,738	28.4	51,641	67.4	3,192	4.2
45	139,368	40,389	29.0	94,049	67.5	4,930	3.5
50	195,917	60,982	31.1	127,538	65.1	7,300	3.7
55	223,241	64,984	29.1	147,804	66.3	10,233	4.6
60	253,479	62,394	24.6	177,440	70.0	13,534	5.3
平成2年	285,259	53,529	18.9	212,014	74.8	17,756	6.3
7	298,253	47,639	16.0	226,087	76.0	23,581	7.9
12	308,307	45,756	14.9	228,204	74.3	33,353	10.8
17	315,792	45,423	14.4	221,669	70.4	47,559	15.1
20	320,802	45,868	14.3	219,003	68.3	55,931	17.4

資料：1.国勢調査(各年10月1日)
2.総数には「年齢不詳」を含む。従って3区分人口の合計とは一致しない。
3.平成20年は4月1日現在の総人口(住民基本台帳人口+外国人登録数)

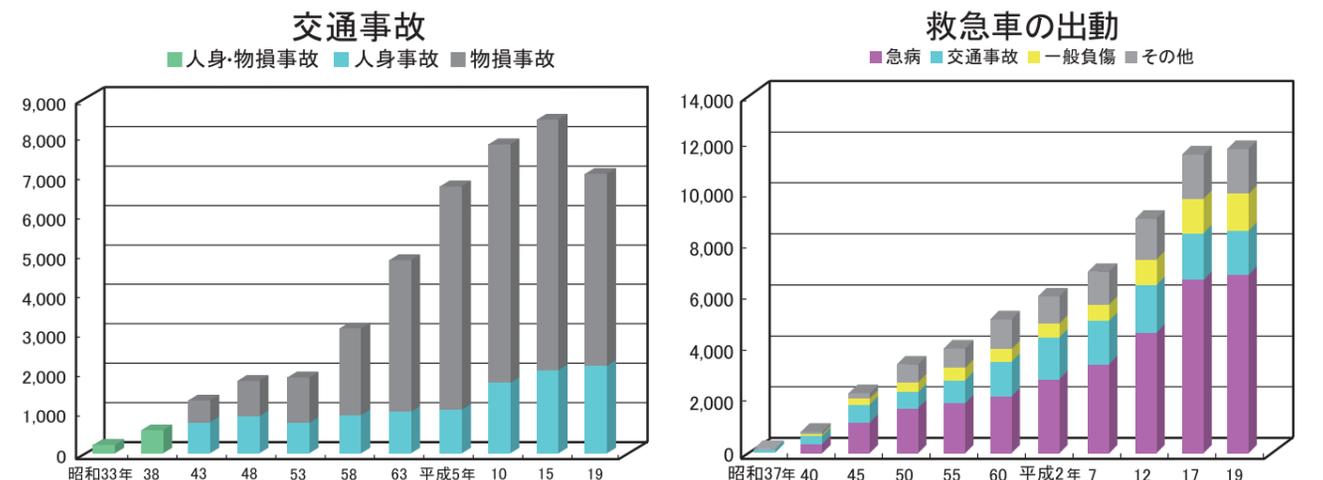
教育・文化

児童・生徒数は、第2次ベビーブームの影響などにより小学校は昭和56年、中学校は昭和61年をピークに、その後は少子化により減少傾向が続いています。公民館(地区センター)の利用については、市内13館となった昭和54年以降、年間50万人以上の利用があります。図書館貸出冊数については、平成19年度で143万冊を数えます。



災害・事故

交通事故は、昭和43年から急激に増加し平成15年頃をピークに徐々に減少しています。救急車の出動件数については、昭和37年から比較してみると、約77倍にも増加しており、平成19年中では1日当たり32.6件の出動で、今後も徐々に増加傾向を示しています。



各駅別乗車人員

(単位：人)

年度	総数	東武鉄道						JR東日本 南越谷
		蒲生	新越谷	越谷	北越谷	大袋	せんげん台	
昭和33年度	3,330,818	368,634	—	2,230,853	467,303	264,028	—	—
38	7,310,078	1,268,533	—	4,482,191	1,007,872	551,482	—	—
43	18,027,776	3,900,938	—	6,952,964	3,300,627	1,918,413	1,954,834	—
49	31,631,377	4,650,142	1,919,320	9,660,091	5,426,606	3,919,048	3,753,519	2,302,651
53	40,914,339	4,150,110	5,876,387	9,739,826	6,105,564	4,214,564	5,192,890	5,634,998
58	49,824,402	4,094,101	9,198,072	10,025,701	6,460,632	4,162,276	7,776,019	8,107,601
63	66,649,943	4,522,060	13,803,616	11,011,711	7,911,381	4,414,290	11,130,849	13,856,036
平成5年度	78,541,329	4,586,491	17,418,961	11,174,580	9,135,998	4,560,569	12,358,952	19,305,778
10	77,365,728	3,523,200	19,682,456	9,488,350	8,660,552	3,963,367	11,811,745	20,236,058
15	79,376,900	3,139,307	22,033,234	8,246,880	8,954,858	3,516,126	11,401,867	22,084,628
19	82,455,991	3,118,139	23,484,642	8,473,887	9,594,978	3,404,347	11,524,399	22,855,599

資料：昭和33年度から平成15年度は「埼玉県統計年鑑」
平成19年度は、市内各駅調べ

ごみ収集量(家庭系)

(単位：t)

年度	収集量	収集量			市民一人当り ごみの量 (kg)
		可燃物	不燃物	不燃物	
昭和43年度	6,860	…	…	…	65.0
48	27,047	21,661	5,386	…	156.7
53	36,487	28,600	7,887	…	175.8
58	47,582	37,460	10,122	…	201.3
63	68,706	56,885	11,821	…	252.6
平成5年度	78,301	65,564	12,737	…	268.6
10	85,333	75,655	9,678	…	282.2
15	87,936	76,072	8,812	3,052	279.5
19	79,789	67,569	4,028	8,192	250.0

資料：環境資源課
(注) 1.昭和43年度から昭和62年度までの売却量は埋立量に含む。
2.昭和43年度は4月～12月分のみ。

都市公園

(単位：ha)

年度	供用面積
昭和56年度	36.24
59	39.54
62	42.48
平成2年度	45.01
5	57.65
8	65.87
11	66.75
14	68.15
17	76.89
20	78.13

資料：公園緑地課

産業別事業所割合

(単位：件、%)

産業	昭和35年		昭和56年		平成18年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
総数	1,717	100.0	7,832	100.0	11,444	100.0
卸売・小売業、飲食店	829	48.3	3,828	48.9	4,477	39.1
製造業	420	24.5	1,328	17.0	1,377	12.0
サービス業	332	19.3	1,505	19.2	3,412	29.8
建設業	96	5.6	633	8.1	1,049	9.2
その他	40	2.3	538	6.8	1,129	9.9

資料：事業所・企業統計調査
(注) 昭和35年は7月1日、昭和56年、平成18年は10月1日

労働力人口年齢別構成

(単位：人)

年齢	昭和45年	平成17年
総数	66,675	166,018
15～19歳	4,501	3,010
20～24歳	10,828	13,163
25～29歳	11,479	17,467
30～34歳	11,896	21,252
35～39歳	9,138	19,215
40～44歳	6,112	16,274
45～49歳	4,024	14,356
50～54歳	3,086	16,527
55～59歳	2,587	19,872
60～64歳	1,730	13,806
65歳以上	1,294	11,076

資料：国勢調査(各年10月1日)

工場数

(単位：件、人)

年次	工場数	従業者数
昭和33年	252	1,498
40	622	9,165
50	1,290	14,341
60	1,286	15,034
平成7年	1,428	12,389
17	1,056	10,719

資料：工業統計調査(各年12月31日)

農家数・農家人口

各年2月1日(単位：戸、人)

年次	農家数					農家人口		
	総数	専業	兼業	第1種兼業	第2種兼業	計	男	女
昭和35年	4,123	1,644	2,479	1,481	998	27,571	13,569	14,002
40	3,803	962	2,841	1,652	1,189	25,052	12,383	12,669
45	3,416	597	2,819	1,226	1,593	21,307	10,473	10,834
50	3,013	424	2,589	888	1,701	17,781	8,757	9,024
55	2,661	345	2,316	716	1,600	15,072	7,439	7,633
60	2,461	238	2,223	500	1,723	13,460	6,663	6,797
平成2年	2,272	267	2,005	166	1,839	12,009	5,946	6,063
7	1,970	206	1,764	269	1,495	9,794	4,872	4,922
12	1,694	196	1,077	153	924	8,179	4,108	4,071
17	1,414	203	884	96	788	6,360	3,179	3,181

資料：農林業センサス
(注) 平成12年調査から販売農家にのみ専業・兼業別を調査している。従って専業と兼業の合計は総数とは一致しない。

商店数・年間商品販売額と従業者数

(単位：件数、人、億円)

年次	総数	卸売業	小売業	従業者数	年間商品販売額
昭和33年	749	…	…	1,864	24
41	1,194	179	1,015	3,595	201
45	1,633	173	1,460	5,304	369
49	2,072	220	1,852	7,293	886
54	2,611	317	2,294	10,029	2,007
60	2,929	464	2,465	13,178	3,727
平成3年	3,376	794	2,582	23,288	8,305
9	3,104	675	2,429	21,003	8,036
14	2,824	650	2,174	21,811	7,049
19	2,562	578	1,984	21,915	7,418

資料：商業統計調査

公共下水道

各年度末

年度	供用開始面積 (ha)	行政人口 (人)	処理人口 (人)	処理世帯 (世帯)	普及率 (%)	水洗化率 (%)	未水洗化 (人口)
昭和58年度	94.00	243,328	6,453	1,942	2.65	35.43	4,167
61	211.60	264,487	19,297	6,285	7.30	68.17	6,142
平成元年度	1,072.00	281,623	96,382	32,463	34.22	69.92	28,996
5	1,848.18	294,257	180,105	64,344	61.21	76.85	41,703
10	2,259.07	305,566	224,585	83,669	73.50	85.08	33,503
15	2,499.16	316,466	248,297	98,299	78.46	88.96	27,403
19	2,610.34	320,802	261,178	107,965	81.41	92.20	20,374

資料：下水道課
(注) 公共下水道は昭和58年4月1日から供用開始。
普及率=処理人口÷行政人口×100

図書館

(単位：冊)

年度	蔵書冊数	貸出冊数
昭和33年度	4,400	13,222
43	19,308	19,871
53	55,857	191,996
63	240,558	588,853
平成10年度	436,784	1,503,036
19	536,875	1,434,917

資料：図書館要覧

(注) 1.昭和33年度については、4月1日から11月3日まで。
2.北部市民会館図書室、南部図書室、移動図書館を含む。

公民館(地区センター)利用者数

(単位：人)

年度	利用者数
昭和45年度	26,044
50	261,680
55	516,558
60	509,731
平成2年度	502,992
7	540,563
12	582,211
17	688,295
19	690,718

資料：生涯学習課

全人口に占める65歳以上人口の割合

(単位：人、%)

年次	全国			埼玉県			越谷市		
	総数	65歳以上人口		総数	65歳以上人口		総数	65歳以上人口	
		実数	割合		実数	割合		実数	割合
昭和35年	9,430	540	5.7	2,430,871	133,006	5.5	49,585	2,567	5.2
40	9,921	624	6.3	3,014,983	157,685	5.2	76,571	3,192	4.2
45	10,467	739	7.1	3,866,472	198,589	5.1	139,368	4,930	3.5
50	11,194	887	7.9	4,821,340	256,014	5.3	195,917	7,300	3.7
55	11,706	1,065	9.1	5,420,480	333,874	6.2	223,241	10,233	4.6
60	12,105	1,247	10.3	5,863,678	420,099	7.2	253,479	13,534	5.3
平成2年	12,361	1,489	12.0	6,405,319	530,539	8.3	285,259	17,756	6.2
7	12,557	1,826	14.5	6,759,311	681,172	10.1	298,253	23,581	7.9
12	12,693	2,200	17.3	6,938,006	889,243	12.8	308,307	33,353	10.8
17	12,777	2,567	20.1	7,054,243	1,157,006	16.4	315,792	47,559	15.1
20	12,774	2,761	21.6	7,179,565	1,287,191	17.9	320,332	54,873	17.1

資料：平成17年以前は国勢調査(各年10月1日)

平成20年の埼玉県・越谷市については「埼玉県町丁字別人口調査人口」(1月1日)

平成20年の全国については「人口推計月報」(1月1日)

(注) 全国の総数、実数は、単位が万人。

交通事故

(単位：件、人)

年次	総事故件数	人身事故			物損事故
		件数	死者	傷者数	
昭和33年	160	...	19	164	...
38	615	...	15	365	...
43	1,332	777	34	1,049	555
48	1,830	937	23	1,237	893
53	1,909	766	15	967	1,143
58	3,155	957	13	1,184	2,198
63	4,882	1,049	27	1,310	3,833
平成5年	6,756	1,100	17	1,447	5,656
10	7,819	1,778	12	2,285	6,041
15	8,448	2,103	13	2,614	6,345
19	7,073	2,210	12	2,635	4,863

資料：越谷警察署

主な死因別人口10万対死亡率

死因	昭和35年	昭和58年	平成18年
悪性新生物	86.7	92.1	210.3
心疾患	82.7	55.0	96.0
脳血管疾患	223.8	64.5	57.8
老衰	52.4	6.6	5.1
不慮の事故	40.3	19.4	19.3

資料：越谷保健所

児童の平均身長・体重

(単位：cm、kg)

年次	小学6年生 男		小学6年生 女	
	身長	体重	身長	体重
昭和33年	135.0	29.9	136.3	31.0
58	143.0	36.4	145.1	37.7
平成19年	144.9	38.5	146.6	38.8

資料：昭和33年は学校基本調査における県平均

昭和58年、平成19年は学校課

救急車の出動

(単位：件)

年次	総数	内訳			
		急病	交通事故	一般負傷	その他
昭和37年	154	23	111	13	7
40	820	351	317	68	84
45	2,333	1,180	698	241	214
50	3,451	1,743	641	392	675
55	4,095	1,953	901	487	754
60	5,234	2,226	1,344	503	1,161
平成2年	6,141	2,884	1,642	553	1,062
7	7,103	3,486	1,686	658	1,273
12	9,192	4,710	1,879	1,007	1,596
17	11,692	6,781	1,834	1,357	1,720
19	11,908	6,989	1,727	1,449	1,743

資料：1.昭和44年以前については市勢要覧「こしがや1970」

2.昭和45年～63年については「越谷市消防史-30周年記念-」

3.平成2年以降は消防本部

小学校・中学校

(単位：校、人)

年次	小学校		中学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数
昭和33年	10	7,413	9	2,610
43	12	9,414	5	4,007
53	25	27,513	10	9,897
63	28	24,313	15	15,092
平成10年	29	17,918	15	9,510
20	30	18,816	16	9,052

資料：学校基本調査(各年5月1日)

編集を終えて

ここに本市の市制施行50周年記念誌を企画編集し、皆様にお届けできますことに心よりお礼申し上げます。記念誌発刊にあたり多くの方々から、貴重なご意見や資料の提供を賜りました結果、今日を迎えられました。

市制施行50周年記念事業推進市民委員会記念誌作成部会長という重責に逡巡いたしました。部会員に支えられますことを頼りにお引受けいたしました。

本市の礎を築かれた「先人各位の50年の実績と県南東部地域の32万中核都市の発展と推移」を伝えること、そしてイメージの伝達は大切な責務と認識した次第です。

幸いなことに編集に携わる歴史・教育・文化・コミュニケーション・産業経済・福祉医療・情報・写真・デザイン等々各部門の部会員による印刷監理や監修・校正作業には、充分な力の発揮がありました。

編集に要した時間が約一年余りと短期間での調査不足等もあるかとは思いますが何卒、ご理解とご賢察をいただきますようお願い申し上げます。

末尾にあたり温かいご協賛とご協力を賜りました各方面の方々に厚くお礼申し上げ、後記といたします。ありがとうございました。

越谷市制施行50周年記念事業
推進市民委員会 副委員長 戸井田 熙
記念誌作成部会 部会長

◆主な参考資料

- 越谷市史
- 市制施行40年の足跡「ときを超えて」
- 越谷市勢要覧
- 広報こしがや
- 越谷の歴史物語
- わたしたちの郷土こしがや
- 川のあるまち 越谷文化
- *このほか、市発行のパンフレット、各種団体発行の記念誌などを参考にしました

◆記念誌作成部会（敬称略）

- 部会長 戸井田 熙
- 副部会長 大森 修一
- 部会員 山崎 昭二
- 鴨川 繁夫
- 坂巻 高次
- 大徳 幸雄
- 高崎 力
- 中野 鉄雄
- 安井 晃
- 事務局 秘書室広報広聴課

◆記念誌に掲載した写真を提供いただいた方（敬称略・50音順）

- | | |
|--------|--------|
| 大野 光政 | 坂巻 高次 |
| 鈴木 知亥 | 高崎 力 |
| 高橋 恒 | 竹永 啓太郎 |
| 戸井田 熙 | 中村 朝之助 |
| 中村 豊次 | 中村 ゆき |
| 福田 美代子 | 谷塚 藍造 |
| 山崎 軍司郎 | |

「越谷市制施行50周年記念誌」

- 発行日 平成20年11月
- 企画・編集 越谷市制施行50周年記念事業推進市民委員会 記念誌作成部会
- 発行 越谷市
- 〒343-8501
- 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
- ☎048(964)2111(代表)
- 印刷 中央印刷株式会社

*掲載した写真の複写・転載を禁じます



「水郷こしがや」と親子のシラコバトが未来にはばたく様子を表現しています。市民の皆さんとともに暮らしやすいまちづくりを進めるためのシンボルとして、全国公募の中から市民投票によって選ばれました。

平成10年11月3日選定



10個の外輪は、合併した2町8カ村を表し、中央にカタカナの「コ」の字を4つ集めて「越」の意味、中心は「谷」の文字を図案化しました。この図案は町村合併後に、町章として町民の皆さんから

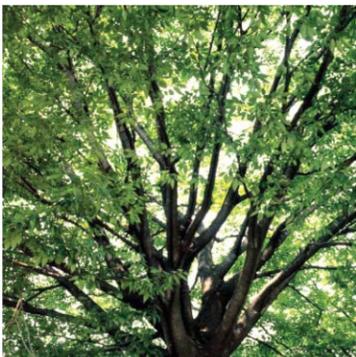
募集したもので、昭和30年1月10日に制定しました。その後、市制施行とともに市章となりました。

市制施行50周年記念

ロゴマーク

「50」と「シラコバト」をモチーフにして、越谷市が100周年に向け、さらなる飛躍する姿を描きつつロゴマークにしました。

キャッチフレーズ *歩みつけて半世紀 さらに飛躍の初老紀*



市の木 ケヤキ
昭和53年11月3日制定



市の花 キク
昭和53年11月3日制定



市の鳥 シラコバト
昭和63年11月3日制定

市の歌

椎木一男 作詞 / 宮沢章二 補作 / 奥村 一 作曲

- | | | |
|---|--|--|
| <p>一、流れ 幾すじ 波おどり
空へ舞い立つ しらこばと
歌おう 望みを よろこびを
水と みどりと 太陽の
わが市 わが町 越谷よ</p> | <p>二、花のいのちに 飾られて
愛が かおるよ 人の輪に
生きる日 励む日 夢みる日
共に 根を張り 幸を生む
わが市 わが町 越谷よ</p> | <p>三、昇る朝日の ほほえみは
今日と 明日を むすぶ虹
ひかりを集めて さわやかに
老いも 若きも 肩を組む
わが市 わが町 越谷よ</p> |
|---|--|--|

昭和53年11月3日制定